

ドイツの若者政策視察から考える、 日本における若者の政治参画の可能性

自己紹介

原田 謙介(29歳)

NPO法人YouthCreate代表

岡山県出身

愛媛県愛光高校卒

東京大学卒



内閣府子ども・若者育成支援推進点検・評価会議委員

2014年開催EU評議会主催 World Forum for democracy

内閣府青年リーダー育成プログラム青少年分野ドイツ派遣

サッカー 海外30か国 グリーンバード中野チーム₂代表

内閣府青年社会活動 コアリーダー育成プログラム

1. 高齢者関連活動、障害者関連活動及び青少年関連活動の各分野において社会活動に携わる日本青年を海外に派遣
2. 社会活動の中心的担い手となる青年リーダーの能力の向上と、各国、各分野間のネットワークの形成

応募動機

- 1.今年も海外1回行きたい！
- 2.ドイツの政治教育などに関心あり
- 3.NPO立ち上げて1年と少し。全く違う場に身を置き視野・経験を広げたい
- 4.自分が委員として関わった「子ども若者育成支援推進法」の実態も気になる。

子ども・若者育成支援推進大綱 （「子ども・若者ビジョン」）の総点検 報告書

提言内容の抜粋

子供・若者が自らの心・身体を守ることが
できる力の育成（健全育成）

当事者である子供・若者の参画

多様な仲間

n 団長

酒井洋幸

n 団員

飯田良智、小見まいこ、佐藤真史、鳴滝美咲、根守久美子、
原田謙介、向井清美、森山円香

(高校教員、特別支援学級職員、
野外活動施設管理者
市役所職員、ボランティア
若者と政治をつなぐNPO
キャリア教育NPO
教員のリーダーシップ育成NPO)



他の分野との接点

青少年・高齢者・障害者の3分野



テーマを決めていざドイツ！

< 団テーマ >

日本における青少年分野の非営利組織を
発展させるために、ドイツにおける ユース
ワーカーの人材育成と中間支援の在り方を
学び、発信する

< 個人テーマ >

政治・社会に対する、青少年支援の必要性
の周知。

視察先概要



団としての学び

(1) ユースワーカーの育成

ユースワークの企画や運営に当たる専門性を持った
スタッフ

若者が社会のメンバーとして自立していくことを手
助けする人

行政の青少年局、青少年施設、職業支援施設、
相談業務機関、ボランティア



ユースワーカーの育成

資格制度について
～ベルリンHSBK大学とコプレントツ応用科学大学～



- Ø 1991年設立の比較的新しい大学
- Ø カトリック教会運営
- Ø 職業経験のある人の学び直しが多い



- Ø 1973年設立の応用科学専門大学
- Ø 建設、エンジニアリング、経済学、社会科学の4学部

ユースワーカーの育成

- ユースワーカーの代表的な資格：社会教育士（ゾチアル・ペタゴージェ）とソーシャルワーカー（ゾチアル・アルバイト）

○25万5千人登録。毎年1万2千～3千人が養成

○日本における小学校の先生ぐらいの人数

- ユースワークがノンフォーマルな教育として位置づけられている。

教育の中で重要な位置づけ

ユースワーカーの育成

人材育成の仕組み

- 理論と実践の往還モデル
現場で学ぶことが必須。Semester毎に1日の現場実習
- 学びの入り口は一つで出口が多様

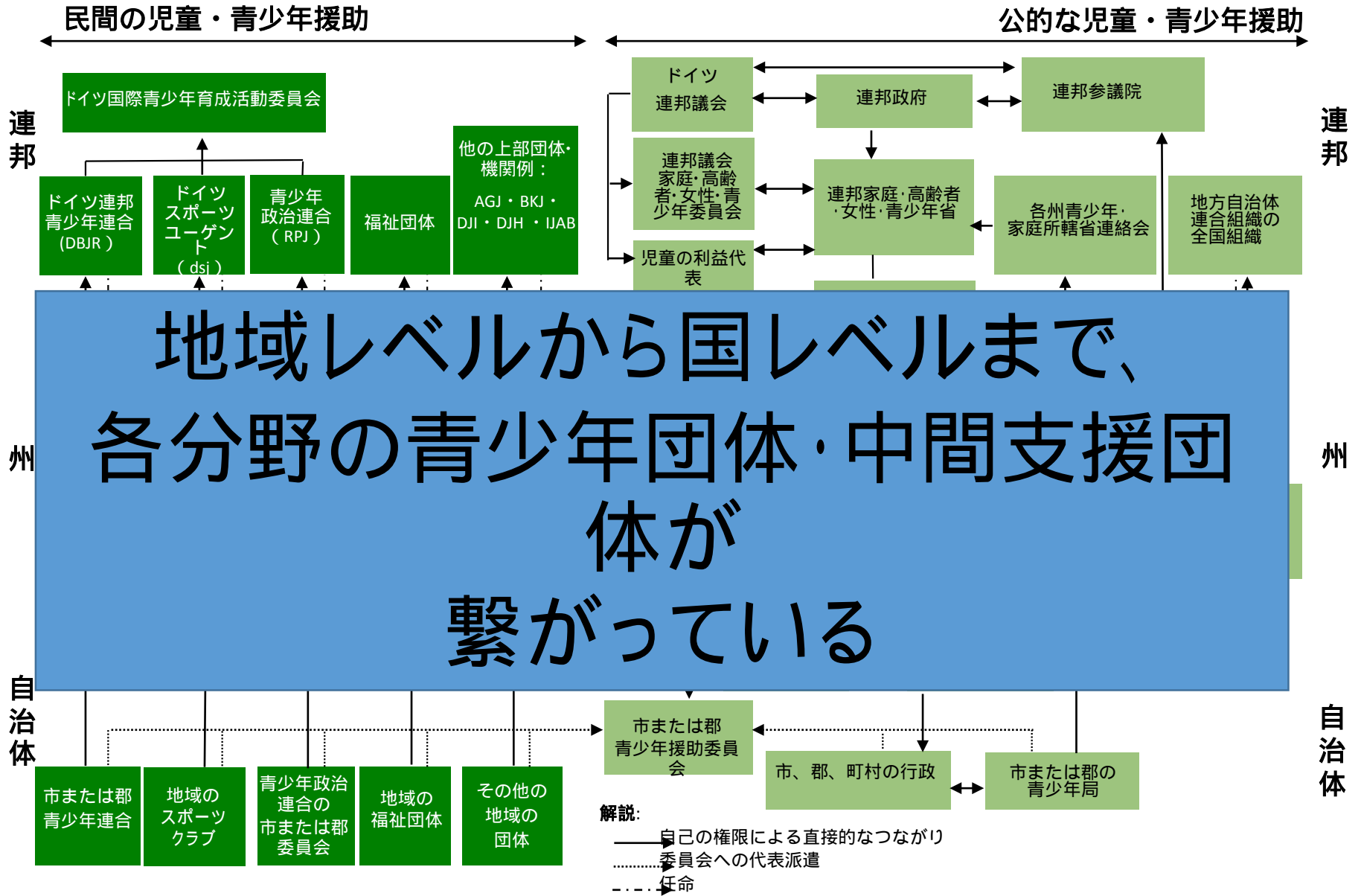
団としての学び

(2) 中間支援組織の在り方

“青少年”というキーワードで広く連携している
青少年団体同士をつなぎ、互いに意見交換や研修。
また、行政との連携や要望など



ドイツ連邦共和国における児童・青少年援助の構造



中間支援の在り方(国レベル)

n 視察先: 連邦青少年協議会



中間支援の在り方(国レベル)

視察先:連邦青少年協議会

- 国レベル→27の青少年団体が加盟
- 州レベル→16の青年協議会が加盟
 - ↳末端を含めて600万人が加盟
- 予算→青年省(国)から90%
- 役割→ロビー活動
共通資格制度
国際的な発信も

中間支援の在り方(地域レベル)

n 視察先: コブレンツ市青年協議会



中間支援の在り方(地域・民間)

視察先:コプレッツ市青年協議会

- ボトムアップで自発的に結成
- 14の青少年団体に構成
 - ↳ (音楽関係・スポーツ関係・赤十字)
- 社会教育的活動
- 行政に対してより効果的に働きかける (ロビー活動)
 - ↳ 個々の団体が連携

中間支援の在り方(地域・行政)

視察先:コプレッツ市青少年局

- 子ども若者に関すること全般
 - ・公園の整備
 - ・保育園
 - ・ユースセンターなど
- 子ども若者の健全育成を行う
 - ・スクールソーシャルワーク
 - ・就労支援
 - ・ストリートワーク(アウトリーチ、訪問)
 - ・若者のソーシャルワークを担う民間団体との連携
- 青少年支援委員会
 - ↳ 民間と行政の両者による委員会。民間委員にも議決権あり

団としての学び まとめ

- (1) ユースワーカーの育成
ユースワークの必要性の意味づけ
養成の方法

- (2) 中間支援組織の在り方
全国規模での連携
行政と連携